



第1学生会館 3階 カフェ「Soleil」／内装改修(天井、照明、柱、壁、床)
 [上]コミュニケーションエリア／イス、テーブル、ソファ、ローテーブル [下左]リラックス
 エリア／イス、テーブル、ソファ、サイドテーブル [中右]カフェエリア／イス、テーブル、
 丸テーブル、ビッグテーブル、カウンターテーブル [下右]ピアノエリア／イス、テーブル、
 丸テーブル、ハイバックソファ、サイドテーブル、ゴミ箱

SPACE QUEST

02

甲南女子大学

KONAN WOMEN'S UNIVERSITY

「未来への実践力」を育てる、新たな教育フィールド。

2024年4月、甲南女子大学に学生待望のカフェがオープンし、
 2025年度に開設される心理学部の学びの場として3号館の改修も終わりました。
 全学ディプロマポリシー「未来への実践力」を培う場として期待される、
 これらの新たな施設について、学長の秋元典子氏にうかがいました。



甲南女子大学 学長

秋元 典子 氏

Akimoto Noriko

学部学科・学年を超え、多様な学生が集う場の創出

本学ではコロナ禍の影響を受け、喫食スペースが縮小傾向にありましたが、学生からは「おしゃれなカフェをつくってほしい」という要望が多く寄せられていました。これを受け、コロナ禍による制約を見直し、改めてワンキャンパスという本学の良さを生かすため、学部学科・学年を超えて学生が自由に集う場の創出に取り組む必要性を実感。学生生活課、図書館、広報課(当時)の部門連携によるカフェプロジェクトを立ち上げ、開学60年の節目となる2024年4月のオープンを目指した計画がスタートしました。

カフェプロジェクトチームが考えたコンセプトは、本学の

全学ディプロマポリシー「未来への実践力」に基づき、「学び、交流し、考える」という3つのキーワードを軸に策定されました。

そこには勉学を通してだけでなく、カフェで過ごす時間からも、未来の実践力である学ぶ力、交流する力、考える力を身に付けてほしいという思いが込められています。

カフェの内装については、大学施設の一部というイメージではなく、街の中のカフェのように学生が望むおしゃれさを意識し、家具も照明も、シンプルな中に柔らかさと品位が感じられるものとなりました。



第1学生会館 3階 カフェ「Soleil」(ソレイユ／フランス語で太陽という意味)は、全面ガラス張りで神戸の街と海が一望でき、家具、照明はおしゃれな街のカフェを意識したものを設置した。

「全員発揮型リーダーシップ」を身に付ける空間

完成したカフェの名前は、在学生・教職員、卒業生からの公募による全学投票で、フランス語の太陽を意味する「Soleil(ソレイユ)」に決定。「あたたかい空間になってほしい」という考案者の思い通り、全面ガラス張りで光が降り注ぐ空間にぴったりの名前となりました。

カフェ内には神戸の街と海が望める席もあれば、村野藤吾氏の建築設計による国の登録有形文化財である本学の校舎を見渡すことができる席も設けています。また、約50年前から本学にあった歴史あるグランドピアノはそのまま生かし、周囲に席を配置して自由に演奏するのを鑑賞できる空間をつくったのも、カフェらしい演出です。

カフェ内のゾーニングにあたっては、「学び、交流し、考える」というコンセプトを踏まえて策定された提案に、カフェプロジェクトチームがアイデアを膨らませながら、目指す空間づくりに取り組んでいます。

フロア中央は書架に囲まれ、本を読みながら飲食できるブックカフェスタイルを導入した学びのゾーン「ブックカフェエリア」。図書館による企画のもと、在学生と教職員がバラエティに富んだ本を約300冊選書しました。交流ゾーン「コミュニケーションエリア」には大人数で座れる席やゆったりくつろげるソファ席を配置し、仲間同士で会話を楽しんだり、ゼミの懇親会などのイベントにも活用できます。



第1学生会館 3階 カフェ「Soleil」 [上]・[下左]ブックカフェエリア／美しい絵や優しい話が詰まった絵本もあるブックカフェには、学生と教職員が選んだ約300冊が並ぶ。イス、テーブル、丸テーブル、ビッグテーブル、カウンターテーブル、シェルフ [下右]フランス語で太陽を意味する「Soleil(ソレイユ)」は、「あたたかい空間になってほしい」という日本語日本文化学科の学生の案。エレベーターを降りた正面に、店名と太陽のイラストがあらわれた看板が出迎えてくれる。



[左]国の登録有形文化財も含まれる村野藤吾氏の建築設計による校舎群が見渡せるエリアは、学生だけでなく見学者にも注目されている。 [右上]フロアは「学び、交流し、考える」のコンセプトに基づきゾーニングされ、利用人数、目的に合う家具やインテリアで構成されている。 [右下]オープンキッチンカウンターでメニューを注文。ランチタイムには焼き立てのパンが並べられる。オープンキッチンカウンター、パン陳列台

一方、考えるゾーンの「リラックスエリア」では、一人で思索にふけることができるよう、一人用のソファ席を用意しています。カフェの営業時間は16時までですが、営業後も空間は自由に利用できるようにしており、オープン後は、営業時間外にも学生が目的に合わせて活用している様子がうかがえます。

本学の全学ディプロマポリシー「未来への実践力」に着想を得て誕生したカフェですが、「未来への実践力」のその先に本学が目指すのは、「生き抜く力を持つ自律した女性」の育成です。「自分で立つ」自立ではなく、「自らを律する」自律にこだわっているのは、自らを律して行動し、判断し、責任を持って社会に参加していく力こそ、生き抜くために求められる力だと考えからです。

そのために本学が教育の柱として取り組んでいるのが「全員発揮型リーダーシップ」教育です。全学共通科目として2017年度にまずは文系学部を導入しました。2025年度からは全学部を導入する予定です。

従来のリーダーシップといえば、先頭に立ってメンバーを牽引するイメージが一般的ですが、本学が掲げる「全員発揮型リーダーシップ」とは、メンバーの意見、考えに耳を傾け、信頼関係を構築し、個々が主体性を発揮して目標やビジョンを達成するために自律的に行動できるチームへと導くものです。個々が

活躍する組織づくりに欠かせないとされ、一般企業でも求められる新たなリーダーシップを学生時代に身に付けることは、そのまま本学が目指す「生き抜く力を持つ自律した女性」を意味します。

そして、この「全員発揮型リーダーシップ」は、授業で学び修得するだけでなく、学生生活全般を通して得ていくものもあり、「Soleil」はその最適な空間であると考えます。

オープン後は、カフェのコンセプトを実現する取り組みとして学生有志と学生生活課、甲南女子大学生活協同組合の3者で学生プロジェクトを立ち上げ、共同でカフェ運営に取り組んでいます。メニューには学生からリクエストの多かった焼き立てパンを取り入れたり、ドリンクやパスタ、スイーツなど学生の好みに合ったカフェメニューを考案しています。3段のケーキスタンドに載ったスイーツを仲間とシェアして楽しむことができる大好評のアフタヌーンティーセットも学生考案の期間限定メニューです。ほかにもインスタグラムを立ち上げてカフェ情報を発信したり、カフェ空間を活用したイベントの企画や運営にも取り組む予定です。これもまた「全員発揮型リーダーシップ」を培う機会であり、活動を通して成功体験を積み重ね、自信を蓄積していく中でチャレンジ精神を磨いてほしいと思います。